

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	14-122	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Patterns of change in implementation of state alcohol control policies in the United States, 1999-2011. 1999-2011 年におけるアメリカ合衆国各州のアルコール・コントロール政策実施状況の変化		
執筆者		
Nelson TF, Xuan Z, Blanchette JG, Heeren TC, Naimi TS.		
掲載誌 Addiction. 2015 Jan;110(1):59-68.		
キーワード		PMID
アルコール・コントロール政策、政策実施状況、多量飲酒、飲酒運転		25138287
要 旨		
<p>目的： アメリカ合衆国各州におけるアルコール・コントロール政策実施状況がどのように変化しているかを調査した。</p> <p>方法： 1999 年から 2011 年におけるアメリカ合衆国各州の政策実施状況の変化について、記述的縦断解析を行った。29 州におけるアルコール・コントロール政策実施状況を、アルコール政策情報システム、政府および酒造業界の報告書、全住民および若年者における多量飲酒と飲酒運転の予防効果に関する専門家の報告書などを用いて調査した。</p> <p>結果： 1999 年から 2011 年の間に、全住民を対象としたアルコール・コントロール政策の実施状況に大きな変化を認めなかった（政策実施スコア[IR]：0.366 から 0.375）。一方、有効性が少ないと考えられる政策の実施状況（IR：0.287 から 0.427）、若年者を対象とした政策の実施状況（IR:0.424 から 0.511）、および飲酒運転に対する政策の実施状況（IR:0.493 から 0.608）は、改善した。</p> <p>結論： アメリカ合衆国において、1999 年から 2011 年の間に、若年者や飲酒運転に対する政策や有効性が少ないと考えられる政策の実施状況は改善したものの、最も飲酒に対して有効と考えられる政策の実施状況は低いままであった。</p>		